

# 松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp http://www.city.matsusaka.mie.jp

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp  
松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp



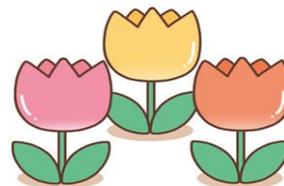
## どの花みてもきれいだな



9月1日の始業とともに、園・学校に元気な子どもたちの姿がもどってきました。保育、授業の充実とともに、運動会、修学旅行、文化祭等さまざまな園・学校行事の日々を過ごされることと思います。

一日一日と秋が深まっていく今の季節からは少し季節感が異なりますが、ある歌の歌詞を紹介します。

「チューリップ」  
さいた さいた チューリップの花が  
ならんだ ならんだ 赤 白 黄色  
どの花みても きれいだな



これは、皆様のご承知のとおり、昭和7年に発表された「チューリップ」の歌の歌詞です。文部省の唱歌としてつくられたこの歌ですが、「どの花みても きれいだな」の部分は『一人ひとりには必ず良いところがある』という思いを込めてつくられた歌詞だそうです。それぞれが、きれいか、そうでないかをいうものではありません。「どの花みても」というとおり、一つひとつが皆違って、違いながらも素晴らしく一生懸命咲いている、また、違ったものが「ならん」でいるから、全体が美しくなるということも言えます。

どの時代でも、それぞれの個性や特徴を伸ばそうという考え方は大切に考えられていたのだなと感じます。教育には「不易」の部分と「流行」の部分があるとされています。「流行」は追いつつも、決して「不易」を忘れてはいけないのだと思います。

(山本 嘉)

センターだより107、108号では終了した研修講座について、受講された方の声を載せさせていただきます。悉皆的に参加依頼をした講座、自主研修として、校内研修として選んでいただいた講座などさまざまですが、多くの方方のご参加をいただきました。ありがとうございました。講座内容等、今後の各園・学校での実践につなげていただければ幸いです。

### 研修講座報告

②

終了した研修講座の様子を受講された方の声からお届けします。

B-12 郷土教育 I 豪商に学ぶ 伊勢商人長谷川治郎兵衛家

(8月4日)

講師 村田 匡先生

- ・長年、入ってみたかった長谷川邸に入れて嬉しかったです。幼い頃から、「市役所のとなりは何だろう？」と思っていましたが、それが長谷川邸の庭だったということが、今日やっと分かりました。
- ・勉強になりました。児童たちにも、今回のことをしっかりと伝えていきたいと思います。

**A-8 体育/保健体育****「のり」や「なりきり」を大切にした表現運動・ダンスの授業づくり**

(8月5日)

講師 柳瀬 慶子先生

- ・9月からの授業に活かせる講座でした。実技も多く、自らが子ども役となることで、楽しさや指導のポイントを学ぶことができました。
- ・教材を自分で探すなど、今後もたくさんの引き出しを作っていきたいです。そして、自分自身が楽しんでできるということが一番大切だと思いました。

**B-3 情報教育 小・中学校におけるICT活用の現状とこれから**

(8月5日)

講師 中川 一史先生

- ・自分は、ICT機器に詳しくはないのですが、「まずは自分が使ってみよう」という気持ちになりました。
- ・動的ツールについてのお話の時、見る・聞く・撮る・動かす・大きくする・送る・保存するということが、タブレットのよさであると教えていただきました。タブレットのよさを自分自身が知ることで、活用する上での整理ができました。

**B-15 特別支援教育Ⅱ 再考 発達のアンバランスと支援**

(8月7日)

講師 志村 浩二先生

- ・愛着障がいについて詳しくきくことができ、今後の子ども達をみる視点を増やすことができました。また来年もお話を聞きたいです。
- ・パワーポイントなどを使わずに、マイクと黒板だけで、こんなに楽しく学びある話を聞かせてもらえて、おどろきました、受講してよかったです。

**A-1 国語 一緒につくりましょう -子どもとつくる国語の授業-**

(8月7日)

講師 木村 祐子先生

- ・今まで、国語授業の研修を受ける機会があまりなかったので、授業の進め方など、とても勉強になりました。教材研究をしっかり行い、一文一文を大切に扱えるような授業を9月から行いたいと思います。「子どもから進んで授業を創る」「言葉のまとまりを大事にしながらか授業を子どもと創る」を、大切にしていきます。

**B-2 授業力向上(学力向上・授業づくり)****〔授業力UPセミナー〕わかって伸びる授業をめざして (ICTもちょっと活用)**

(8月8日)

講師 中村 武弘先生

- ・模擬授業で児童がやる気になる様子を体験させていただきました。今、一番知りたいことを教えていただき、大満足でした。9月からの授業に、早速活かします。
- ・〇つけ法での子どもの理解度のチェックや声掛けをこれから実践していきたいと思いました。
- ・今回の講座は、職場の若い人にも聞いてほしい内容でした。

**C-2****特別支援教育コーディネーター研修Ⅱ****発達障がいのある子どもをつつむクラスづくり  
～特別支援教育コーディネーターの立場から～**

(8月8日)

講師 松久 眞実先生

- ・心に響く研修で、具体例が多く、とてもリラックスでき、すっと心に入るお話でした。コーディネーターのスキルや共感もあり、大変勉強になりました。
- ・先生の経験をもとに、とってもわかりやすく説明していただき、自校にもどって、研修の中で、職員に伝えていきたいことを多く学ばせていただきました。

**B-13****郷土教育Ⅱ 松浦武四郎を通して子どもたちに伝えたいもの**

(8月19日)

講師 山本 命先生、近藤 慎一郎先生

- ・松阪の偉人と言えば、本居宣長さんを思い浮かべる人が多いが、「武四郎さんもこんなにすごい方なんだ」ということを児童・生徒に伝えたいと感じました。自分の生活や行動と重ね合わせて理解させたいと思います。
- ・初めて知ることもあり、自分自身の勉強不足を感じました。事例集を参考に、実践してみようと思います。

**B-5****生徒指導（不登校対応） 不登校児童生徒の理解とかわり**

(8月21日)

講師 森川 泉先生

- ・家庭訪問の具体的な方法を教えてもらえてよかったです。子どもの一つひとつの行動にもっと目を向けなければと感じました。
- ・子どもが発するサインはどのようなものがあるのかが分かりました。今後、子どもとかわる中で活かしていきたいと思います。

**A-2****国語 国語授業のユニバーサルデザイン -UD 授業のつくり方-**

(8月21日)

講師 桂 聖先生

- ・論理的な考えのもとにできた授業づくりは、本当に納得できるものがありました。どの子も分かる授業をしっかりと考えていきたいです。
- ・何度聞いても、気づきのあるお話でした。それだけ、国語の授業は奥が深いと思いました。また、しっかりとしかけを考えて授業することが大切であるということも感じました。

**B-9****学級づくりⅡ 学級経営を、講座とワークショップで豊かに学ぶ****～学級づくりの考え方、学級崩壊からの脱却方法など～**

(8月22日)

講師 増田 修治先生

- ・ユーモア詩の取り組みは、子ども同士のつながりだけでなく、家庭と学校、家庭と家庭のつながりも生んでいるところがすごいと思いました。
- ・学級がうまくいかなかったときに、担任が一人で抱え込むのではなく、仲間の力を借りることが大切だと感じました。
- ・ワークショップはみんなが参加できて良かったと思います。

#### A-4 理科 「楽しい理科実験・工作」の講義と実習

(8月26日)

講師 泉 勝人先生

- ・身近なものを使って、理科が生活につながっているということが分かれると子どもたちは、興味を持って物事を見たり、考えたりすると思います。普段、じっくり教材を考えたり探したりする時間がないので、このような講座があると、「これなら使えそう」と助かります。
- ・楽しい実験を探し続けているお姿が勉強になりました。

#### A-6 図画工作/美術 図画工作科の授業づくりの支援と環境づくり ～かんたん工作の実技をもとに～

(8月26日)

講師 竹井 史先生

- ・実技でたくさんの方を教えていただけで良かったです。どれもすぐに取り組みやすい内容で、とてもためになりました。
- ・身近な材料を使っていろんなことができることがわかりました。ぜひ子どもたちにもこの楽しい実践を紹介していきたいです。

#### B-11 保護者対応

精神的不安定さを持つ養育者の元で育つ子どもの特徴・関わりの留意点

(8月27日)

講師 土田 幸子先生

- ・あすなろで働いてみえたときの話や、実体験などもまぜながら話を聞かせていただき、とても分かりやすかったです。精神的不安定さを持つ養育者のもとで育つ子どもたちは、親のことを周りに話しにくかったり、普通の家庭の生活が分からなかったりするなど、たくさんの方の不安を抱えているのだと知りました。その子に合った接し方を考えることが大切だと学びました。

#### B-6 生徒指導 (Q-U) Q-Uを活用した児童生徒理解と学級・学校づくり

(8月28日)

講師 粕谷 貴志先生

- ・Q-Uは担任の力量をはかるものではなく、支援の手立ての一つとして、教職員で子どもたちのことを共通理解するためのものなのだとわかりました。
- ・Q-Uの活用方法を具体的に聞け、また、Q-Uについて詳しく聞かせていただいたこと、ありがたかったです。学校づくりに生かせるよう、取り入れていきたいです。

#### B-18 乳幼児教育Ⅲ

描く楽しさを子どもたちに -子どもの発達と描画活動の指導・援助-

(8月30日)

講師 田中 義和先生

- ・実際に絵を見ながら説明して下さったので、分かやすく、また楽しみながら学ぶことができました。今後の保育に活かしていきたいと思いました。
- ・具体的な事例をもとにお話していただき、わかりやすかったです。